

議事要旨

会議名	令和４年度第４回芦屋中央病院評価委員会			会場	芦屋町役場 ４階４４会議室	
日 時	令和４年１２月２０日（火） 午後２時～午後２時４５分					
件名・議題	１．議題 （１）第３回評価委員会議事要旨について （２）第３期中期計画（案）について ２．その他 （１）今後のスケジュール					
委員等の出欠	委 員 長	村松 圭司	出	オブザーバー （病院）	櫻井 俊弘	出
	副委員長	貞安 孝夫	出	オブザーバー （病院）	森田 幸次	出
	委 員	中野 徹	出	オブザーバー （病院）	竹井 安子	出
	委 員	須賀 由美子	出	オブザーバー （病院）	檜田 房男	出
	委 員	武藤 淳	出	オブザーバー （病院）	中野 悟子	出
	委 員	内海 猛年	出	オブザーバー （病院）	肥川 一元	出
	事 務 局	溝上 竜平	出	オブザーバー （病院）	坂本 林太郎	出
	事 務 局	志村 裕子	出			
	事 務 局	泉原 香織	出			
合意・決定事項	・第３回議事録要旨の内容について了承を得た。 ・第３期中期計画（案）について、事前に聴取した委員からの意見に対する病院の考え方を示し、それに伴う修正を行った。BPC（事業継続計画）の町の策定状況を確認し、それを反映させたものを最終案とすることとなった。 ・今後のスケジュール及び第５回評価委員会（書面開催）について説明した。					

【議事要旨】

○議題（１）第３回評価委員会議事要旨について

（委員長） 第３回評価委員会議事要旨について、事実と異なる点などがあれば指摘をいただきたい。

（委 員） 指摘なし。

（委員長） では、第３回評価委員会の議事要旨については、このとおりとし、後日町のホームページに公開していただきたい。

○議題（２）第３期中期計画（案）について

事務局から、第３期中期計画（案）に対する委員の意見及び病院の考え方を説明。（資料２、資料３）

（委員長） 第３期中期計画（案）に対する意見及び病院の考え方について、意見や質疑があればどうぞ。

（委 員） 確認するが、７ページの（５）災害及び新興感染症に対する医療協力の文中にBCPとあるが、町は策定しているのか。 議会で先進地視察をした際には、町は策定していないと聞いていたが。

（事務局） 策定の有無については、認識していない。

（委 員） BCPは、災害時等の緊急事態の際に早期に対応ができるようにする計画である。議会でも策定しようという話があり、先日、名古屋で研修を受けてきた。町が策定している認識がないので、確認するように。

（委員長） 事務局は、確認して報告するように。

（事務局） 後日確認し、中期計画（案）への記載についても対応する。

（委 員） 10ページの（２）医療従事者の確保の４行目に青字で『大学医局と密に連携し、引き続き医師の増員に努める。』とあるが、11行目には赤字で『引き続き常勤医師数の維持に努める。』となっている。予算では、増員を前提したものではなく、維持に努める状態を反映していると想像するが、どうなっているのか。

(病 院) 予算は、医師数を維持した状態を反映している。病院としてはすぐにでも、非常勤医師を常勤医師としたいが、現実には医師の確保は必ずしも予定どおり行われない。医師一人当たりの給与の予算は大きな金額になるので増員を予算に反映すると、採用できない場合に大きな差が生じることとなる。そのため医師数を維持するという予算にしている。

(委員長) 13 ページの (2) 患者快適性及び職員の接遇の向上の指標としている患者満足度調査について、委員の意見に目標設定を前計画より上げたり、下げたりしているのはなぜかという指摘がある。それに対し、病院の意見に『第 3 期中期計画から新たな調査項目を設ける』と記載がある。

第 2 期までの患者満足度調査と新たな調査とで比較できる項目は残るのか。

(病 院) 以前の患者満足度調査の中には、建物の満足度が入っていた。新病院となつてすでに 5 年を迎えるため、調査項目を再検討するが、以前の調査と今回の調査で比較できる項目も一定程度残す。

(委員長) ほかに意見や質問はないか。

(委 員) 19 ページの (2) 収入の確保の指標では、医師 1 人 1 日当たりと、非常に表現がわかりやすくなっている。単純に計算すると、入院患者は、医師 1 人 1 日当たり 4.5 人くらい、外来患者だと医師 1 人 1 日当たり 14 人から 15 人くらいとなる。例えば、医師一人当たり何人くらい診てもらえるといいとか、そういうざっくりとした目標があるか。

(病 院) 診療科により事情が異なっており、明確な目標は定めていない。

(委員長) 当日資料が示された予算の修正に関しては、単純な誤記ということでもいいか。

(病 院) その通りである。

(委 員) 当日資料の第 3 期中期計画の予算について、営業収益のうち医業収益とその他営業収益と記載されている。医業収益のうち入院収益は毎年増えていくという予算。その他営業収益もかなり増えている。これは何を根拠に増えているのか。また、営業費用の中の給与費が令和 7 年度に下がっているが、なぜか。

(病 院) 入院収益は病床利用率が上がる見込みとしているため、収益も増加している。

その他営業収益は、居宅介護支援事業所、訪問看護、健診センターの収益が増える試算である。

給与費に関しては、収支計画は年々増えていく形になっているが、予算と資金計画は実際のお金の動きになるので、退職金の支払いが加味されることから収支計画と違う動きになる。

○その他 今後のスケジュールについて

事務局から第3期中期計画（案）策定の今後の流れについて説明を行った。（県審査～委員会への最終確認～3月議会への上程）

また、第4回評価委員会の議事要旨及び第3期中期計画（案・最終版）の内容確認を書面審議で行うことについて説明した。

（委員長） ほかに、質問はないか。
では、本日の委員会は終了する。

（閉 会）